

4. 区の花・区のうた

■ 区の花

鶴見区にふさわしい花を定めるため、昭和62年8月～10月に、「花の咲く木」1つ、「草花」1つを募集し、約 8,200 通の応募の中から「区の花選定委員会」において、花の咲く木として「ハナミズキ」、草花として「チューリップ」が選定されました。

その後、花の咲く木として 2 番目に人気があり、ハナミズキと入れ替わりに咲く「ツバキ」が追加され、また、草花のチューリップの開花期が短いため、もうひとつの草花として花言葉が「楽しい思い出」という意味を持ち、子どもたちの人気も高いとの理由で「ニチニチソウ」が追加選定されました。



※区の花のデザインは、4つの花を鶴見緑地の風車の4枚の羽根にたとえて、季節ごとに巡り咲く花を風車にしてデザインしています。



ハナミズキ



チューリップ



ツバキ



ニチニチソウ

■ 区のうた

区制 10 周年を記念し昭和 59 年 3 月に、区のうたとして「鶴見音頭」が制定された。地域の方々に愛され、主に地域の夏祭り・盆踊りで使用されている。

鶴見音頭

一
水の大阪 みどりの鶴見
鶴見緑地は 皆んなの自慢
こころ合わせて 笑顔を寄せて
今日も明るい 町づくり
鶴見よいとこ 住み良いところ
鶴見よいとこ 夢の町・夢の町

二
遠く生駒の お山にとどけ
鶴見名物 だんじり囃子
風が運んだ 季節の花は
誰に咲くのか 気にかかる
鶴見よいとこ 住み良いところ
鶴見よいとこ 夢の町・夢の町

三

鶴見人情 ほのぼの染めて
とる町の灯 あの窓・小窓
星の広場は しあわせ広場
明日の希望を 歌ってる
鶴見よいとこ 住み良いところ
鶴見よいとこ 夢の町・夢の町

みずのおおさか みどりのつるみ つるみよくちは みんなのじま～ん
とおくいこまの おやまにとどけ つるみのいぶつ たんじりば～や～し
つるみにんじょう ほのぼの染めて とるまのひ あのまどこ～ま～ど

こころあわ～せて えがおをよせて きょうもあかるい まちづくり～
かぜがこ～んだ きせつのはなは だれにさくのか きにかかる～
ほしのひる～ばは しあわせひるば あすのきぼうを うたってる～

つる～み～ よ～い～と～こ ず～み～よ～い～と～こ つる～み～
つる～み～ よ～い～と～こ ず～み～よ～い～と～こ つる～み～
つる～み～ よ～い～と～こ ず～み～よ～い～と～こ つる～み～

つる～み～ よ～い～と～こ ち～め～の～ま～ち ち～め～の～ま～ち ち～
つる～み～ よ～い～と～こ は～な～の～ま～ち は～な～の～ま～ち ち～
つる～み～ よ～い～と～こ あ～い～の～ま～ち あ～い～の～ま～ち ち～